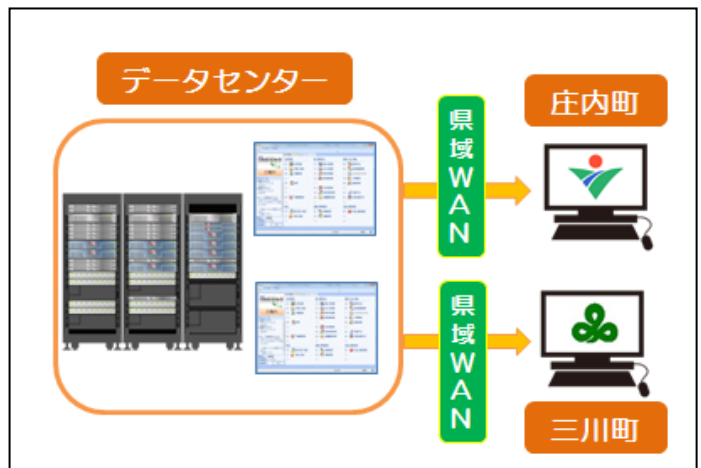


## 平成25年度 県内の主なICT利活用事例

### 《 行政効率化 》 三川町、庄内町が自治体クラウドを導入

#### 【自治体クラウドによる住民情報システムの共同利用について】

- 三川町と庄内町は平成25年12月、住民記録、国保、介護保険など20業務における住民情報システムの共同利用を開始した。
- 県内では置賜地域の7市町からなる自治体クラウドの共同導入の事例があるが、三川町と庄内町の共同導入は県内で2例目。
- 自治体クラウドを共同導入することで、開発経費や運用経費が縮減されるだけでなく、導入に併せて業務分析等が行われることで業務効率化の推進が期待される。



(資料提供: 庄内町情報発信課、三川町企画調整課)

### 《 行政情報 》 市町村による会員制交流サイト（SNS）を活用した情報発信

#### 【フェイスブックを活用した市町村の情報発信について】

- 村山市、東根市、米沢市、長井市、高畠町、川西町、酒田市の市町が、会員制交流サイト「フェイスブック」を活用した情報発信を開始した。(米沢市は試験運用)
- 市町内での出来事や話題、観光、イベント情報のほか、災害等の緊急情報を発信するものもあり、スマートフォン等の高速携帯端末の普及により、市町村が発信する身近な情報がより簡単な形で見る事ができる。

